

「おーい、徳大の若者たちよ！」

沖縄無人島キャンプにてくつろぐ著者



NPO法人自然スクールTOEC(トエック)代表

伊勢 達郎 いせ たつろう

おーい、若者よ。ここに、愛はあるのだ。しかしながら、日常の僕ときたら、君たちと程よい心理的距離が

「今どきの若い奴は、」などとして顔の、説教がましいオヤジには絶対なるまい、と思っていたものの、今やすっかり…。いやいや、とはいっても思いがけず、若者の内面に触れることができた時、その健気さやナイーブさに驚きもし、感動もする。瞬く間に、ひとへくへりのレベルははげおち、ひとりひとりが大きな存在感をもって、僕の心の中に棲みはじめ。そして、不器用ながら懸命に生きている彼らのことが愛しくなる。

「おーい、若者よ。ここに、愛はあるのだ。しかしながら、日常の僕ときたら、君たちと程よい心理的距離がはかれない。交信するための周波数はさっぱり合わない。とほほ。ゲシュタルトセラピイの創始者フレデリック・パールズの詩、『ゲシュタルトの祈り』にこうある。この世に生まれ私は私のやりたいことをやりあなたはあなたのやりたいことをやる私はあなたの期待にこたえるために生まれてきたのではないあなたもまた私の期待にこたえるために生まれてきたのではないもしご縁があつて出逢うことがあればそれは美しいことご縁がなければ仕方がないそう、仕方ないのだから。とはいってもそのことは承知の上で、そう潔くもなれないのも事実。介入もしたいし、おせっかいてもやきたいのだ。なぜなら、産業社会の向こう側(次の時代)、人と自然が調和して存在している「非暴力で共生の社会」の扉を開いていくことをなせるのは、若者なのだから。がんばらないで、ありのままの君でいてね、なんて常々言っている僕も、あえて言いたい。ガンバレ徳大の若者たち。君を必要とする人たちがきつとして、君は、その運命の道を生きながらっている。オジさんの声、届いているかい？」

自意識過剰で自己中心的、自分に自信がなく傷つきやすいと言われている今の若者たち。「それでどう思ったの?」とか「何食べたいの?」等、気持ちや意志を問うと、決まって周りをきよろきよろと見廻すお決まりのしぐさ。

「この世に生まれ私は私のやりたいことをやりあなたはあなたのやりたいことをやる私はあなたの期待にこたえるために生まれてきたのではないあなたもまた私の期待にこたえるために生まれてきたのではないもしご縁があつて出逢うことがあればそれは美しいことご縁がなければ仕方がないそう、仕方ないのだから。とはいってもそのことは承知の上で、そう潔くもなれないのも事実。介入もしたいし、おせっかいてもやきたいのだ。なぜなら、産業社会の向こう側(次の時代)、人と自然が調和して存在している「非暴力で共生の社会」の扉を開いていくことをなせるのは、若者なのだから。がんばらないで、ありのままの君でいてね、なんて常々言っている僕も、あえて言いたい。ガンバレ徳大の若者たち。君を必要とする人たちがきつとして、君は、その運命の道を生きながらっている。オジさんの声、届いているかい？」



自然スクールトエックのキャンプカウンセラーは、県内各大学より集まった、大学生ボランティアです。

屋久島にて



略歴

1959 [昭和34] 年徳島県阿南市生まれ。学生時代よりカウンセリング・キャンプを学び、85年「自然スクールTOEC」を設立。個人やグループのカウンセリング及び、沖縄無人島キャンプ(自由なキャンプ)を展開。アメリカのフリースクールやインドのラジニエシ・アシュラムなどを訪ね、90年「TOEC 幼児フリースクール(幼稚園)」98年「TOEC自由な学校(小学校)」を設立。徳島大学のほか、高知県立幡多高等看護学院・四国大学介護福祉士課程などの講師を務める。